

おあしす



2016年の毛烏素沙地（中国内蒙古自治区）

乾燥地は降雨量が少ないだけでなく、降り方が不規則です。毛烏素沙地は60年間の平均降雨量が350mmですが、2016年8月のはじめの2週間で400mm降りました。その結果、丘間低地（湛地）は完全に水没してしまい、流動砂丘の移動を止めるために植栽された早柳が「川端柳」のようになってしまいました。



左が今年で右が2010年です、通常の年の状態と比べると、今年の雨がどれほど異常であったか分かって頂けるのではないのでしょうか。いつもはヒツジが食べる草が茂っている湛地が湖になってしまいました。



同じく、左が今年で右が2009年です。丘間低地が「丘間湖」になっています。

日本沙漠学会 2017 年 第 28 回学術大会開催のお知らせ

1. 大会概要

日時：2017 年 5 月 27 日（土）～ 28 日（日）

場所：千葉工業大学東京スカイツリータウンキャンパス

〒 131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリータウン (R) ソラマチ 8F

アクセス <http://www.it-chiba.ac.jp/skytree/index.html>

2. 研究発表申し込み

発表申し込み締め切り：2017 年 2 月 25 日（土）必着

発表形式は口頭もしくはポスターのいずれかとします。なお、申込者数・会場スペースの都合により、調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。口頭発表は、プロジェクターによる PC ファイル（PDF, ppt 等）での発表となります。

申し込みは、締め切り日までに E-mail または郵送（期日必着）で、以下の様式にそって必要事項を記入の上、実行委員会事務局へお送りください。申し込まれた方には、講演要旨の様式・発表時間等をお知らせします。

発表要旨締め切り：2017 年 3 月 25 日（土）必着

3. 参加申し込み

参加申し込み締め切り：2017 年 5 月 14 日（日）必着

3 月発行予定の学会誌（26 巻 4 号）同封のはがきにて、会員の方すべてがご回答ください。ご欠席の場合でも総会成立のためには委任状が必要となります。またご出席の場合には事前登録扱いになり参加費が割引になります。

4. 問い合わせ・研究発表申し込み先

第 28 回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局

〒 275-0016 千葉県習志野市津田沼 2 丁目 17-1

千葉工業大学工学部応用化学科 矢沢 勇樹

TEL：047-478-0409 E-mail：jaals2017@it-chiba.ac.jp

[委員長] 矢沢勇樹（千葉工業大学）

詳細はホームページ <http://www.jaals.net/> をご覧ください。

-----研究発表申し込み様式（下記の項目に従ってご記入下さい）-----

1. 発表種別：（口頭 or ポスター）
2. 題目（和文）：
3. 題目（英文）：
4. 発表者氏名： ※なお、登壇者は 2016 年度学会員であることを要します。
5. 発表者所属：
6. 概要：（和文 200 字）
7. 連絡先：（氏名、住所及び TEL/FAX 番号、E-mail アドレス等連絡方法）
8. ポスター発表の希望者で、発表者が下記ベストポスター賞の対象者としての条件を満たす場合は、審査の対象分野（理系 or 複合系）を記載してください。

日本沙漠学会 2017 年 第 28 回学術大会におけるベストポスター賞について

日本沙漠学会では、学術大会においてポスター発表をする若手会員を対象に、内規第 11 条に基づいてベストポスター賞を設けています。若手会員は、ぜひチャレンジしてください。なおベストポスター賞の受賞式は、学術大会の期間中に開催される懇親会にて執り行う予定です。

第 11 条 学術大会ベストポスター賞に関する内規（抜粋）

- (2) 受賞候補者は原則として、当該年度において満 35 歳以下の発表者とし学部生、大学院生と大学院修了・中退後 3 年未満の者などとする。なお受賞候補者は、会員で、かつポスターの説明者とし、第一著者でなくてもよい。さらに、当該年度において 36 歳以上の会員が受賞候補者としての選考を希望する場合には、その理由書を学会賞審査委員会（以下、審査委員会）（幹事）宛に郵送しなければならない。
- (3) 対象分野
本賞の対象分野は理系、複合系からそれぞれ 1 件を選出する。選考対象の発表がない場合は該当なしとする。なお、受賞候補該当者は、発表申込時に、どの系での審査を希望するか明記することとする。
- (4) 審査方法
採点者は、以下の 2 項目について採点する。
 - a. 研究内容（目的・意義，研究方法，結果・考察，成果，発展性など）
 - b. ポスター表現とポスターを用いての説明技術，熱意など

問い合わせ先：

日本沙漠学会 総務委員／学会賞審査委員 E-mail : jaals@kyouritsu-online.co.jp

日本沙漠学会 2017～2019 年度評議員の選挙について (会告)

日本沙漠学会 正会員・名誉会員 各位

日本沙漠学会選挙管理委員会
委員長 田島 淳

11月30日締切による新規評議員候補者の被推薦者が5名と確定いたしましたので、日本沙漠学会会則および内規に従い、2017～2019年度評議員の選挙を、下記要領にて実施いたします。正会員各位のご投票をお願い申し上げます。

記

1. 選挙人の資格：日本沙漠学会正会員
2. 被選挙人：下記に掲げる、現評議員（28名）ならびに新規被推薦者（5名）の計33名
3. 選挙方法：
 - 1) 別途送付される投票用紙（再送付されたもの、B5判）を用いること。
 - 2) 候補者氏名から25名以内を選び、右欄に○印を付す。
※25名を越えると、すべての投票が無効になります。
 - 3) 投票用紙を同封の封筒（内封筒）に入れ糊付けする。この封筒には何も記載しない。
投票用紙を封入した内封筒を、返信用封筒に入れて返送する。
4. 投票締切日：2017年1月10日（火）（当日消印有効）
5. 郵送先：〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科
日本沙漠学会選挙管理委員会 橘 隆一 宛
6. 開票日：2017年1月16日（月）午後7時～
7. 開票所：東京農業大学 世田谷キャンパス7号館2階 生産環境工学科会議室
（小田急経堂駅下車 徒歩20分）
開票立会希望者は、選挙管理委員会（r3tachib@nodai.ac.jp）まで事前にお申し出下さい。

[2017～2019年度 評議員候補者]

石川 祐一	今村 薫*	岩本 彰	上原 有恒	牛木 久雄
川端 良子	北村 義信	小島 紀徳	児玉香菜子*	酒井 裕司
篠田 裕	島田 沢彦*	白石 雅美	菅沼 秀樹*	鈴木 伸治
鈴木 潤	高橋 新平	田島 淳	田中 徹	豊田 裕道
中村 徹	縄田 浩志	西牧 隆壯	平田 昌弘	藤巻 晴行*
松本 聡	的場 泰信	森尾 貴広	矢沢 勇樹	吉川 賢
吉崎 真司	渡邊 文雄	渡邊三津子		

(*新規被推薦者)

2016 年度学会賞受賞候補者推薦のお願い（再掲）

日本沙漠学会正会員 各位

日本沙漠学会会長 小島紀徳
学会賞審査委員会委員長 白石雅美

日本沙漠学会細則第 34 条にもとづき、日本沙漠学会賞（学会賞，学術論文賞，進歩賞，奨励賞の 4 賞）を公募いたします。つきましては、学会賞受賞候補者を下記の要領でご推薦下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会学会賞 : 本学会において学術かつ事業活動に顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞 : 「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (3) 日本沙漠学会進歩賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する技術的，実践的な業績を挙げた会員または会員を含む団体に授与する。
- (4) 日本沙漠学会奨励賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は，原則として当該年度において 35 歳以下の会員とする。なお，35 歳を超えた会員を奨励賞に推薦する場合には，その理由書を添付する。

2. 推薦期限 2017 年 2 月 28 日（火） 当日消印有効

3. 推薦方法 以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に郵送して下さい。なお，推薦には「自薦」は含まれません。

- (1) 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞を推薦する場合

様式 1 の推薦書	1 部
推薦に関する資料	1 組
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞を推薦する場合

様式 2 の推薦書	1 部
推薦に関する業績	1 組

4. 宛先（照会先）

〒 156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科
広域環境情報学研究室 気付 日本沙漠学会 学会賞審査委員会 幹事 豊田裕道
TEL : 03-5477-2494 FAX | 03-5477-2620 E-mail : h1toyoda@nodai.ac.jp

5. その他

応募された書類は返却しませんので，必要な場合は写しを保管下さい。

なお，過去の受賞者については日本沙漠学会ホームページ（<http://www.jaals.net/>）をご参照下さい。

様式 1

(日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞用)

平成 年 月 日

日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

様式 2

(日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞用)

平成 年 月 日

日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど
著者名（共著の場合は全員），題目，掲載誌名，巻号，頁，発行年を記載すること。

記入上の注意

- 1) 書 式 A4 縦置横書き，明朝体 12 ポイント，上下左右マージン 2.0cm 以上，1 行文字数 35 ～ 40 字，1 ページ行数 35 ～ 40 行
- 2) 被推薦者 被推薦者が団体の場合は団体名およびその代表者を記入して下さい。
- 3) 推薦理由 箇条書きの場合は約 100 字以内で説明して下さい。
箇条書きでない場合は全体を 400 字程度で記載して下さい。
- 4) 様式 1 「日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞」の場合 5. 資料はコピーなどを添付して下さい。
- 5) 様式 2 「日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞」の場合 5. 業績リストは研究業績の別刷り（コピー可）を添付して下さい。

第59回 風に関するシンポジウム 開催のご案内と講演募集

風に関するシンポジウムは、風に関する理工学分野、人文社会学分野にまたがる学术交流の場として長い歴史を有しています。このたび以下の要領で開催することになりましたのでご案内申し上げます。多くの皆様のご講演、ご聴講申し込みをお願い申し上げます。

主催：一般社団法人 日本風工学会

共催（依頼中）：気象影響・利用研究会，一般社団法人 水文・水資源学会，公益社団法人 大気環境学会，
公益社団法人 土木学会，日本海洋学会，公益社団法人 日本気象学会，
公益社団法人 日本建築学会，一般社団法人 日本航空宇宙学会，日本砂丘学会，
日本沙漠学会，公益社団法人 日本雪氷学会，公益社団法人 日本地理学会，
日本熱帯農業学会，日本農業気象学会，一般社団法人 日本風力エネルギー学会，
一般社団法人 日本流体力学学会，農業施設学会，公益社団法人 農業農村工学会

日時：平成 29 年 3 月 13 日（月）

会場：日本大学理工学部駿河台校舎 1 号館 4 階 141 教室

（最寄駅：JR 中央線「御茶ノ水」，東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」徒歩 3 分）

※特別講演およびシンポジウム終了後の交流会を企画しています。

※プログラム等詳細は，後日，日本風工学会ホームページ <http://www.jawe.jp/ja/> に掲載いたします。

シンポジウム参加費：講演および聴講とも無料

交流会参加費：2,000 円

講演時間：1 件あたり 15 分以内（質疑込み）といたします。

講演概要：講演概要の作成は任意とします。概要を用意される方は，PDF ファイルにてシンポジウム幹事までご提出下さい（最大 2 頁，様式自由）。

概要ファイル提出期限：平成 29 年 3 月 3 日（金）午後 5 時

※提出された概要はモノクロコピーにて，シンポジウム当日，参加者に配布します。

講演申込期限：平成 29 年 1 月 15 日（水）

「講演題目，講演者氏名所属，連名者氏名所属，連絡先，200 字程度の概要，交流会参加ご希望の有無」を，シンポジウム幹事にメールでお申し込み下さい。

聴講申込期限：平成 29 年 3 月 6 日（月）

「聴講者氏名所属，連絡先，交流会参加ご希望の有無」を，シンポジウム幹事にメールでお申し込み下さい。
なお，当日参加も歓迎いたします。

シンポジウム幹事：日本大学理工学部土木工学科

長谷部 寛 hasebe@civil.cst.nihon-u.ac.jp

学会記事

日本沙漠学会第 127 回理事会 議事録

日 時：2016 年 10 月 15 日（土）10：30～12：10

場 所：名古屋学院大学さかえサテライト

出 席：小島紀徳（会長）、吉川 賢、渡邊文雄（以上、副会長）、川端良子、鈴木伸治、田島 淳、豊田裕道、森尾貴広（以上、理事）、中村 徹（以上、監事）、的場泰信（オブザーバー）

委任状：酒井裕司、白石雅美、田中 徹、矢沢勇樹、吉崎真司（以上、理事）、高橋新平（監事）、安部征雄（顧問）

I. 審議事項

1. 本日の秋季シンポジウムについて
 - ・予定通り開催される。変更等特になし。
2. 2017 年学術大会（千葉工業大学東京スカイツリーキャンパス）の開催について
 - ・日程について、5 月 27 日（土）、28 日（日）の開催が承認された。
 - ・キーワードを「砂漠－生命－宇宙」とする。
 - ・公開シンポジウムの開催を千葉工業大学惑星探査研究センター（PERC）に依頼し、了承が得られている。
 - ・開催の情報を学会 HP とおあしすに掲載する。
3. 2016 年度学会賞受賞候補者推薦依頼について
 - ・例年通り推薦依頼をおあしすに掲載した。締め切りは 2 月末。
 - ・会員の研究活動や学界の発展のため、奨励賞が毎年出せるよう、推薦を呼び掛ける。
4. 2017 年秋季シンポジウムについて
 - ・筑波大学東京キャンパス（茗荷谷）での開催を調整中。
 - ・シンポジウム当日の午前中における理事会の開催について、次期理事会に引き継ぐこととする。
5. 今後の学術大会・秋季シンポジウムの日程と開催地について
 - ・2018 年秋季シンポジウム：鹿児島大学での開催を志水会員に打診していたところ、了承が得られたため、10 月中旬の土曜日を念頭に総務が調整を進め、次期理事会に引き継ぐこととした。
 - ・2019 年度の開催については次期理事会に引き継ぐこととする。
 - ・2017 年にインドのパटनाで開催される Asia Pacific Conference on Sustainable Energy & Environmental Technologies (APCSEET) の席にて、DT XIII（2018 年、開催国インド）や ICAL の運営に関して議論する見込みである。

6. バックナンバーの保管場所について

- ・創刊号から 25 巻まで、各号 50～100 部が佐藤印刷(株)に保管されている。26 巻以降は、各号 100 部を(株)共立に送ることになっている。
- ・鈴木総務理事が所属する研究室（東京農業大学）には、1～25 巻まで不連続ではあるが 1 号につき数冊から 50 冊の残部が保管されている。
- ・1～25 巻について、各号 5 部を(株)共立に集めることとする。また 11～24 巻についての PDF 化を今後検討することとする。
- ・購入希望があった場合は、適宜(株)共立から送付し、不足分を佐藤印刷(株)から(株)共立に補充する。

7. 次期役員選挙について

- ・被選挙人になった際、その許諾を本人に確認する。学会費を滞納していた場合は納入を促し、意思を確認する。
- ・次期（2020～2022 年度役員）以降の選挙の際は、3 年以上の滞納者は名簿に記載しないこととする。次期管理委員会への申し送り事項とする。

8. その他

- ・日本緑化工学会 乾燥地緑化研究部会第 22 回シンポジウム「西アフリカの乾燥・半乾燥地における緑化への取り組み」（2017 年 1 月 22 日、東京都大学二子玉川夢キャンパス）について、共催の依頼があり、これを了承した。

II. 報告事項

1. 2016 年第 27 回学術大会（鳥取大学）会計報告
 - ・20 万円の預託金の内、110,767 円が返還された。
2. 編集委員会
 - ・DT XII（エジプト）の 16 報を沙漠研究 26(3)に掲載予定。また 26(4)以降に、2016 年秋季シンポジウム（10 月 15 日）、乾燥地農学分科会講演会（11 月 17 日）、シンポジウム「逼迫する乾燥地の水資源とその対策」（12 月 3 日）の小特集を掲載する予定。
 - ・冊子体の存続に関するアンケートは、賛否がほぼ半々となった。おあしすに掲載する。今後については次期理事会に委ねる。
 - ・Web of science や Scopus への登録について会員から要望がある。Scopus への登録を検討している。
3. その他
 - ・乾燥地農学分科会の講演会（11 月 17 日、東京大学農学部、アフリカ支援：TICAD VI を終えて－日本の援助はどう変わるのか？－）について案内

があった。

Ⅲ. その他

1. 総務委員会

- ・おあしすの表紙の写真について提供が呼びかけられた。

2. その他

- ・IPCCにおいて、砂漠化に関する報告書の委員会への参加の依頼が吉川副会長にあった。

・第128回理事会は2017年1月7日、15:00より中央区内の区民館にて開催予定。

・第129回理事会（新旧合同）および第30回評議委員会の開催日について、第一候補として2017年4月15日（土）、第二候補として4月14日（金）が提案された。なお、理事会は13:00～、評議委員会は15:00～開催予定とする。

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

学生会員

額尔登高娃 (ID: 1096, 名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻)

乾 直樹 (ID: 1097, 吉備国際大学大学院国際協力専攻)

ブウイレ デニス (ID: 1098, 東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科)

●退会会員

正会員

菊池 忠純, 清水 芳見

~~~~~ 賛助会員・団体会員名簿 ~~~~~

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel: 042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel: 03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	164-8721	東京都中野区本町 1-32-2	Tel: 03-5354-3621
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel: 0424-95-1060